

環境にやさしい 生活スタイルの実現

～レジ袋の
削減に向けて～

●神奈川県環境農政部廃棄物対策課

県内では年間約21億枚(推計)のレジ袋が使用されています。レジ袋を製造するのにCO₂が排出され、また、多くのレジ袋がゴミとなっています。

県では、日常生活の中で誰もが簡単にできるレジ袋の削減により、CO₂や廃棄物を減らすとともに、「環境にやさしい生活スタイル」を実現するきっかけにしたいと考え、5月12日に、スーパーなどの事業者や消費者団体、市町村と協力して「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」を行いました。

9月1日現在、68社895店舗の事業者と、消費者団体を含め30の団体、31市町村が、この取組みに賛同しています。

皆さんも、必要以上のレジ袋はもらわないなど、この取組みへの応援とご協力をお願いします。

持っています
エコの心と
マイバッグ

レジ袋削減のキャッチフレーズ



レジ袋削減の
イメージキャラクター▶

トコロテン(心太)と書いて「しんた」です。トコロテンによるダイエットとレジ袋の削減とを結びつけ、地球の環境負荷を減らすよう命名されました。

それぞれの取組

■事業者

店舗ごとに自主的な削減目標を定め、マイバッグ利用の促進など、レジ袋の削減に取り組めます。



■消費者団体等の 各種団体

買い物には自らマイバッグを持参し、皆さんにレジ袋削減を呼びかけます。



■市町村

レジ袋削減の取組みを推進し、地元の事業者のレジ袋削減の取組みを積極的に支援します。

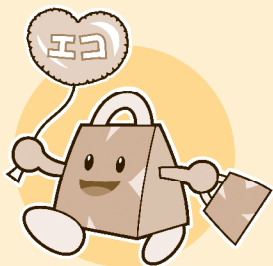


■県

効果的なPRを行い、賛同者の拡大を図ります。また、レジ袋削減の実態を把握するため、県民意識調査などを実施します。

私たちにできること

- 買い物には、マイバッグを持参しましょう。
- レジ(会計)では、不要なレジ袋は辞退しましょう。
- 家族や近所、友人にもマイバッグの利用を呼びかけましょう。



マイバッグ お買い物マナー

マイバッグを悪用した万引きが発生しています。皆さんが気持ちよく買い物をできるようにマナーを守りましょう。

- 買い物中は、マイバッグを折りたたんでおく。
- 商品は「お店の買い物かご」に入れて、レジ(会計)まで持っていく。
- マイバッグは、レジ(会計)が済んでから使う。
- 「お店の買い物かご」は、決められた場所に戻す。

詳しくは、

神奈川県レジ袋削減

検索

をご覧ください

できることから始めよう!

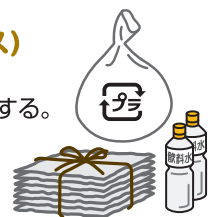
使い捨て社会から循環型社会に変えていくために、3つのRでゴミを減らす取り組みを3Rといいます。10月は3R推進月間です。



Reduce(リデュース)

ゴミの量を減らす

- 修理をしながら長く使用する。
- マイはし、マイボトル、マイバッグを持参する。



Reuse (リユース)

繰り返し使う

- リサイクルショップやフリーマーケットを活用する。
- 洗って繰り返し使うびん等のリターナブル容器を選ぶ。

3R スリーアール

Recycle (リサイクル)

再び資源として利用する

- 缶、ペットボトル等を分別する。
- リサイクル製品を買う。

まずは、ゴミの発生自体を減らすため、リデュースやリユースに努め、ゴミとなる場合もリサイクルを心がけましょう。